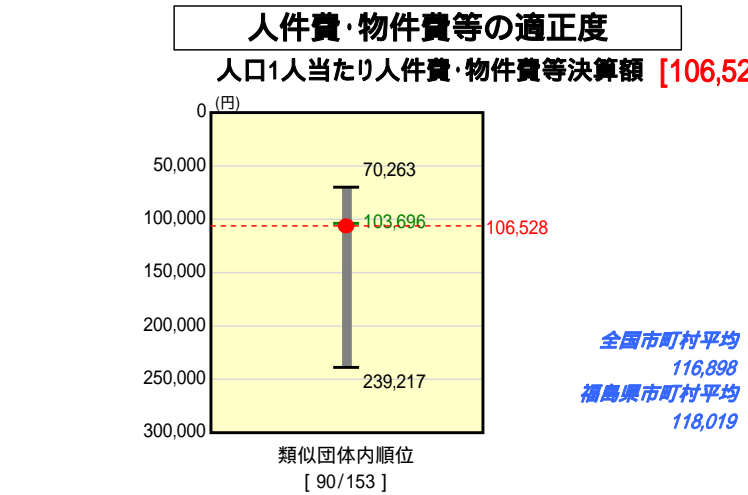
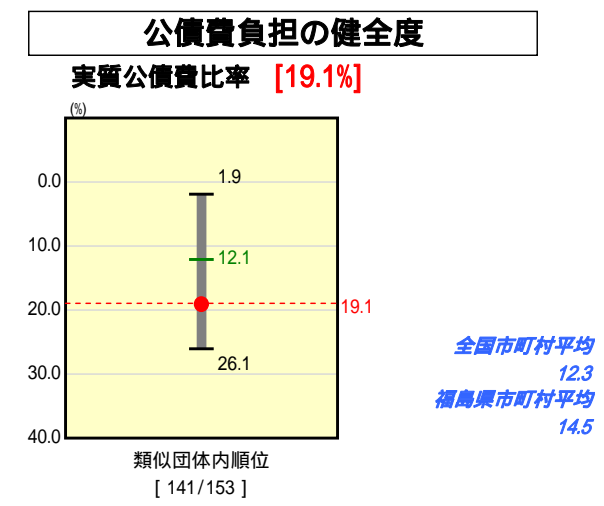
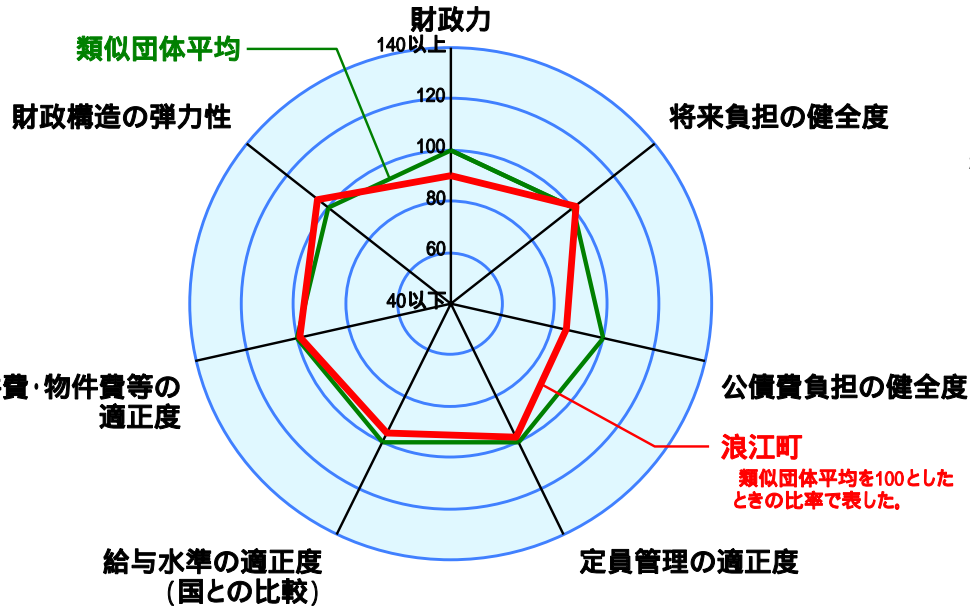
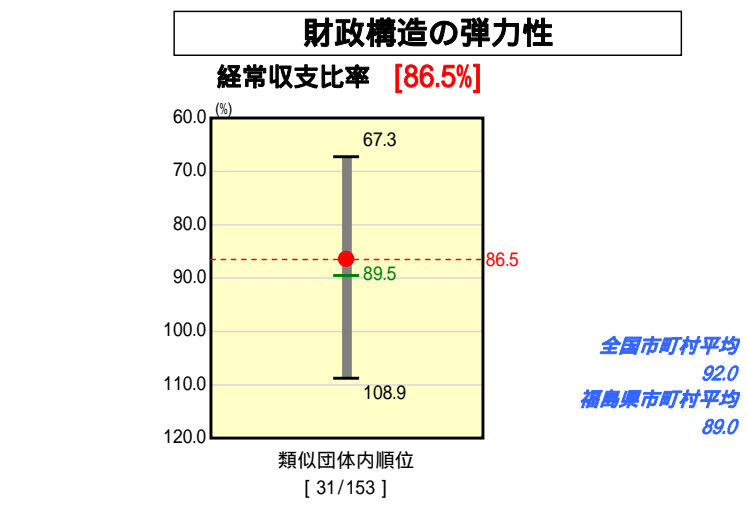
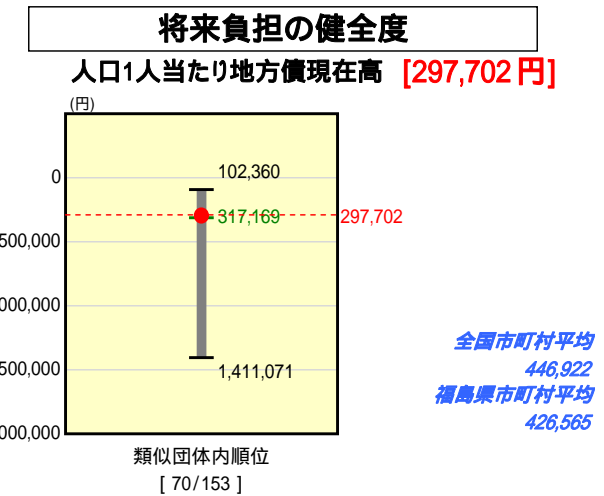
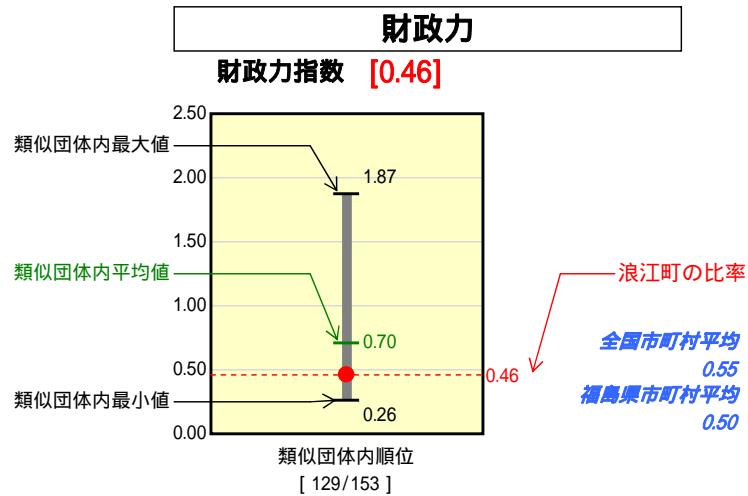


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 浪江町

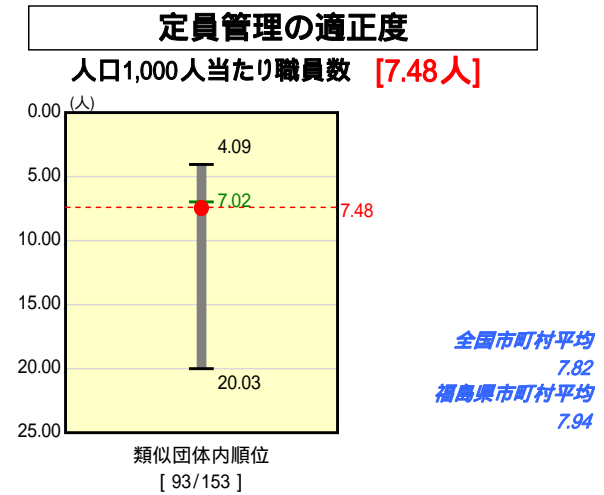
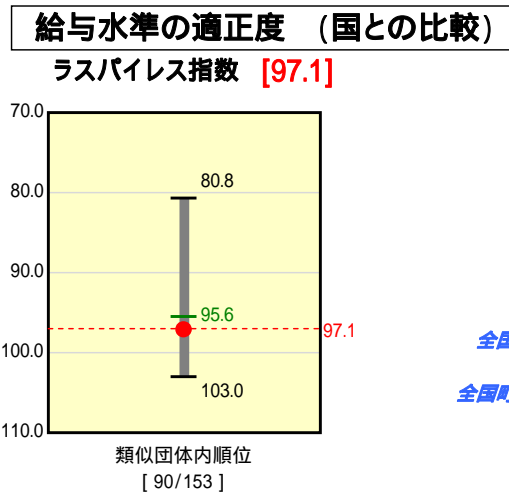
人口	21,933	人(H20.3.31現在)
面積	223.10	km ²
歳入総額	7,133,323	千円
歳出総額	6,985,069	千円
実質収支	148,254	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

【財政力指数】 少子高齢化による人口減や長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから0.46と類似団体平均を下回っている。行政改革集中改革プランに基づき定員管理の適正化(5年間で5%減)による人件費の削減や起債借入の抑制・繰上償還の実施(3年間で12.2百万円)による公債費負担の適正化を実施するなど、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】 類似団体平均を下回っているものの、扶助費の自然増等により前年度を5.1ポイント上回っている。また、公債費については、高利債の繰上償還を実施したため増加しているが、今後利子償還金の縮減や新規発行の抑制により改善に努める。

【実質公債費比率】 国営請戸川土地改良事業負担金に係る債務負担行為(2億8,134万円)が算入されるため類似団体平均を上回っている。債務負担行為については平成25年度終了のため減少しており、公債費負担についても、公債費負担適正化計画を策定し、新規借入れの抑制と繰上償還を実施し、平成26年度を目標に実質公債費比率の適正化を図る。

【人口1人当たり地方債現在高】 実質公債費比率の適正化のため、新規借入の上限設定(4億円)と繰上償還を実施し適正化に努めている。臨時財政対策債の発行が増加しているものの、公債費残高は前年度より減少している。

【ラスバイレス指数】 行政改革集中改革プランに基づき人件費の抑制に努めており、類似団体平均を若干上回る指数となっている。平成19年度に新給料表を導入し、給与体系の見直しに取り組み一層の適正化に努めている。

【人口1,000人当たり職員数】 定員管理適正化計画に基づき定員の適正化に取り組んでおり、類似団体平均と同程度となっている。今後も定員管理の適正化(5年間で5%減)や民間委託の推進等に取り組み、適正な定員管理に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 行政改革集中改革プランに基づく委託料や需用費等物件費の抑制や、施設の計画的な修繕による維持補修費の抑制等により類似団体平均と同程度となっている。今後も事務事業評価システムによる事務事業の見直し・効率化に努め、経常経費の抑制を図っていく。